那須町

魅力づくり活動日記

VOL.12

「地域活性化起業人」 松井（まつい） 彩（あや）さん

■問合せ　ふるさと定住課　☎72-6955

自動運転車両の時代はもうそこまで来ている！

国土交通省が主導する自動運転実証調査事業の補助金採択を受け、町では民間事業者と協力して、住民、事業者、別荘オーナー、観光客向けにアンケート調査を実施しました。今年度は補助金の予算の都合上、実際に自動運転車両の走行は行いませんでしたが、自動走行に向けて具体的な策を練る過程で、観光エリアにおける自動走行に関する法律上の障壁や安全性への課題が明らかになりました。また、自動運転が実現した場合の利用者を想定し、許容できる利用料金や利用シーンについてもアンケートを行い、より現実的な計画につながるよう、情報の収集に努めました。

もちろん、観光にとどまらず、町の公共交通として走行するためのニーズや課題も考慮しなければなりません。本町での自動運転走行の実現に向けてはまだまだ道のりは遠いですが、他の自治体では既に自動運転バスの定常運行が行われており、もはや"未来の乗り物"ではなくなっています。

引き続き今後も公民連携で、安全で効率的な自動運転技術の導入を目指し、地域社会の発展に貢献していければと思います。

自動運転走行の先進自治体へ
視察に行きました（2/27 茨城県境町）

那須文芸

俳句（2024年3月号）

木の股に微睡むりすの春日和　丹野セツ
傘寿すぎ女の執念春着買う　中島君江
声出して源氏を読みし二月かな　佐藤篤子
能登の友安否気づかい春の雪　大野耕子
春陽にひかれ花舗へと足の向く　池田裕子
春の日に赤児あやせる幼かな　高畑和子
梅が香や二重に締むる袋帯　垣内孝雄
島山の春まだ浅き鳶の笛　松浦秀文
陽射受け鎮守の杜の梅の花　中島慶子
退職や自分に戻る春の風　鈴木光典
日向ぼこ至福の刻の過ぎやすし　鈴木文代
空見上げ梅の蕾に託す夢　高崎和子
残照を尾根に沈めて春浅し　松本和子
駅長の帽子をかぶる春の猫　杉浦公子
石垣を見下ろす野良の猫の恋　益子美都里
風神の風のままなる野焼かな　平岡丈子
末黒野を見下し仄か昼の月　三瓶眞弘
六地蔵野焼の畦に粛粛と　長島啓子
藁に小火とびて野焼きの勢子走る　仲川光風
竹筒に梅一輪の客間かな　岡部慶子

短歌

弥生はる山脈を越えいざよいて　竹井麗州
待ちくる梅の香かすかなりし
立春にみんなの集い笑いあり　大野耕子
健康寿命のばしましょう
犬とゆく日課のごとき散歩道　守屋はるみ
枯葉ふみしむ音のしずけさ

那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。
また、電話番号の記入をお願いします。

■**締切り**　3月19日（火）

■**俳句の送付先**
〒329 - 3222 那須町大字寺子丙３ - 166
田中　義郎　☎72－5044

■**短歌の送付先**
〒329 - 3292 那須町大字寺子丙3 - 13
企画政策課広報広聴係　☎72－6935

表紙の話

五感を使って遊ぶ！ユニバーサルデザイン遊具（余笹川ふれあい公園）

余笹川ふれあい公園に新たに設置した遊具は、年齢や性別、文化、言語、障がいの有無などにかかわらず、全ての人が利用しやすいようにつくられたデザインが用いられ、体を動かして遊ぶ以外にも、音や触覚、色で刺激を受ける楽しさも感じることができます。

休日には、大きな遊具で遊ぶことが難しい小さいお子さんも、鉄琴を叩いたり、音のなる筒を回りたりしながら、楽しく遊ぶ姿が見られました。